

るさつ 探訪

月

暦

十能 十字路 十三里



灯に飛んで 来し十月の 虹落
とす(直人)文字通りの秋であり、
「秋の夕日に 照る山紅葉」の錦
秋の十月である。

十能……火種や炭火を運んだ
り、薪や石炭ストーブの灰をすく
つたり、塵取りに使ったり、そし
て時には豆や薯などの持ち運びに
使ったりした十能は正に十の能力

を持った生活必需品であった。
もちろん今でも愛用家は絶えない
だろうが……。

全部が金属にしたものと、柄を
木製にして熱の伝導を防止する工
夫をした十能もあり、わが家には
親友の父が自作の飾り付け十能も
あって……。そういえば、ドロン
コ遊びや砂場遊びに十能を持ち出
して置き忘れたり、落ち葉焚きの
時に柄をこがしたり、更には雪だ
るま作りの用具にしたりした十能
物語が尽きないこのころではある。

十字路……秋の夜の 十字路
やがて 漫る岐路(多美也)とは
また人生の並木路を彷彿させる十
七文字ではなからうか。十の字の
形に交差した道は四つ辻ともいわ
れ、その交点に立って四方を見限
る我が身の思惑が交錯する時、車
社会の現実には「危険なので禁止」
であり、おまわりさんでも必要不
可欠な交通指導に限られる昨今で
ある。

十字路の 落ち葉四方に 舞い
戻る(さやか)アスファルトの鈍
さは確かに秋の色であり、「物思
う季節の十字路は上下左右の四折
を、岐路は左右の二折を示す方向
決定の原点」といわれている。

思えば、自分の道職を決める場
合には十字路型と岐路型の長短を
「とことん納得するまで、といっ
た時間的余裕に裏付けされないと
後悔する」という、青春時代に恩
師からいただいた教訓は忘れられ
ない。今でも……。

再び、ふるさとの十字路は号と
線、南と北の番地に区画された碁
盤の目が多いので、いわゆる交差
点の交通安全指導が実施されて久
しい。にもかかわらず、左右前後
を確認しないで起きてはいけない
交通事故が多発している。またし
ても「十字路は深慮遠謀の、岐路
は熟慮断行の点・線・面である」
といわれるのも宜なるかなであ
る。

十三里……洒落ことばの一つ
で、十三里は九里たす四里で、九
里四里(栗より)うまいサツマイ
モとその焼き芋を「十三里」とい
うのだそうである。

焼き芋といえば、焼き芋屋さん

の声や姿は何処へ、どうなったの
だろうか……。あの独得の香味を
知るものにとっては「旬の味覚」
として名高く、愛好者も多いのに
……。

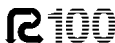
サツマイモ 煮る干す焼くも
里の秋(みゆき)の通り、煮物、
干し芋、焼き芋そして芋焼酎など
と重宝の上もない逸品である。
薩摩芋というから鹿児島原産かと
思い込んでいたが、実はアメリカ
が原産国で、日本へは十七世紀に
中国から渡来したという。以来、
品種改良によって各地特産のサツ
マイモが名物となっているのであ
る。

本道のジャガイモと本州のサツ
マイモは九里四里どころか今やグ
ルメの王様といってもいい程、そ
のレシピもまた多種多様である。
北と南のイモを比較競争するの
ではなく、十三里に因んだ「イモへ
の郷愁」を語るのもまたよからず
やではなからうか。神無月十月に
ことよせて、十人十色の紅葉狩り
から初雪の十一月へと、庭の移り
香を感じながら健気に過ぎさなくち
や……。

(元)郷土史編集専門員

尾池隆男

人口 / 7,726人 (前月比 1人)、男 / 3,694人 (前月比 4人)、女 / 4,032人 (前月比 3人)
世帯数 / 3,076戸 (前月比 7戸) 出生 / 4人、死亡 / 4人、転入 / 22人、転出 / 21人 【8月31日現在】
住民登録の手続き上、人口増減と出生・死亡・転入・転出の増減は一致しないことがあります。



本誌の印刷には、大豆インクを使用しています。
また用紙には再生紙(100%)を使用しています。